【別表】

クリティカルバリュー (通称「パニック値」) の例 ※一覧表は 2021 年版と変更はありません。

	項目	低 値	高 値	緊急報告項目の例#
血液生化学檢查	グルコース	50 mg/dL	350 mg/dL(外来) 500 mg/dL(入院)	0
	ナトリウム (Na)	115 mmol/L	165 mmol/L	
	カリウム (K)	1.5 mmol/L	7.0 mmol/L	0
	クロール (Cl)		120 mmol/L	
	カルシウム (Ca)	6.0 mg/dL	12.0 mg/dL	
	尿素窒素(UN)		80 mg/dL	
	総ビリルビン		20 mg/dL (新生児)	
	総蛋白	4.0 g/dL	10.0 g/dL	
	アルブミン	2.0 g/dL	6.0 g/dL	
	尿酸	1.0 mg/dL	10.0 mg/dL	
	AST		300 U/L	
	ALT		300 U/L	
	LD (LDH)		1,000 U/L	
	アミラーゼ		1,000 U/L	
	クレアチニン (Cr)		急性腎不全: 3.0 mg/dL	
			慢性腎不全: 8.0 mg/dL	
	クレアチンキナーゼ (CK)		5,000 U/L	
	コリンエステラーゼ (ChE)	20 U/L		
	乳 酸		5.0 mmol/L	
	浸透圧(血清)	255 mOsm/kg H₂O	330 mOsm/kg H₂O	
	pH	7.20	7.60	
Þ	PaCO ₂	20 Torr	70 Torr	
血液ガス	PaO ₂	40 Torr		
	BE	- 10 mmol/L	10 mmol/L	
	HCO ₃ -	14 mmol/L	40 mmol/L	
血液検査	白血球数(WBC)	1,500/ µ L	2 万 / μ L または芽球の出現	
	ヘモグロビン (Hb)	5 g/dL	20 g/dL	0
	血小板数(Plt)	3 万 / μ L	100 万 /µL	0
	プロトロンビン時間 (INR)		2.0 (ワルファリン治療時は 4.0)	0
	フィブリノゲン	100 mg/dL	700 mg/dL	
	FDP		20 μ g/mL(施設により 20~100)	
髄液検査	糖	20 mg/dL		
	細胞数		200 / µ L	

[#]クリティカルバリュー (通称「パニック値」)の中で、特に緊急対応 (経過観察や処置を含む)を要するため、直ちに担当医への報告が必要となる検査項目の例。これら検査項目の選択や基準値の設定は、診療科医師と相談し医療機関ごとに運用されることが望ましい。

参考: 1) Lundberg GD. When to panic over abnormal values. Med Lab Obs 1972; 4: 47-54.

²⁾ The Clinical Laboratory in Modern Health Care ハリソン内科学第 18 版 e53